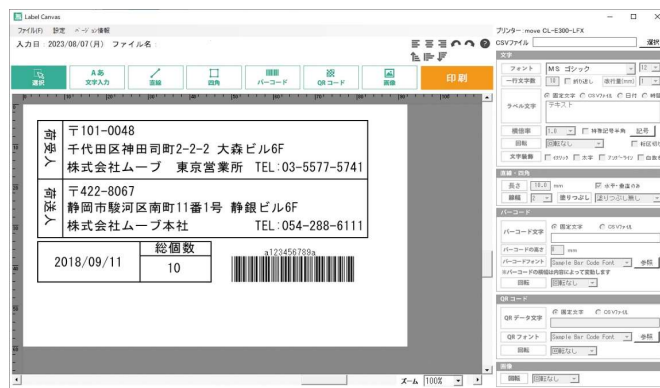


Label Canvas

操作マニュアル

Ver.1.21



目次

動作環境・アプリ起動 …P 2

- ①新規作成
- ②登録済ラベルを選択
- ③ラベルデザイン画面・印刷領域表示

基本の操作 …P 4

- ①メインメニュー
- ②オブジェクトボタン
- ③オブジェクト設定項目
- ④ラベルデザイン画面・印刷領域
- ⑤戻る、繰り返し、ヘルプ
- ⑥整列機能
- ⑦外部データ（Excel、csvファイル）選択
- ⑧印刷ボタン

オブジェクトの配置方法 …P7

- ①文字入力
- ②直線
- ③四角
- ④バーコード
- ⑤QRコード
- ⑥画像

オブジェクトの操作 …P11

- ①オブジェクトの一括移動
- ②オブジェクトのコピー・ペースト
- ③オブジェクトの削除

外部データの配置（csv、Excel） …P13

- ①外部データの選択
- ②外部データ（テキスト）の挿入
- ③外部データ（バーコード）の挿入
- ④外部データ（QRコード）の挿入

印刷 …P17

- ①印刷（印字項目に外部データを含まないケース）
- ②印刷（印字項目に外部データを含むケース）
- ③印刷（印刷領域外のオブジェクトがあるケース）

動作環境

以下の環境で本製品を利用してください。

OS : Windows10以降

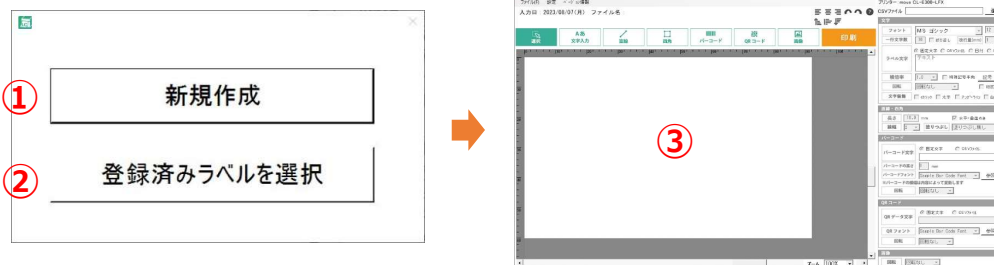
解像度 : 1280×800以上、表示スケール 100%推奨

設定>日付と時刻>地域>データ形式を変更する>日付(短い形式) = 2017/04/05

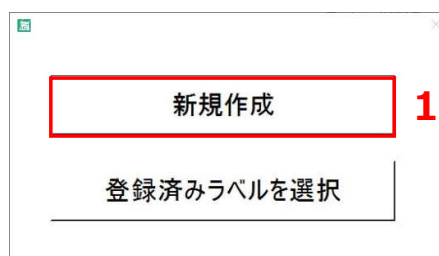
※上記以外の設定・環境の場合、正しく表示されない又は不具合が生じる可能性があります。

アプリ起動

アプリを立ち上げ、ラベルデザイン画面・印刷領域を表示する操作です。



①新規作成



1. 「新規作成」を選びます。



2. PCに登録されているプリンターキューを表示します。該当プリンターを選択します。

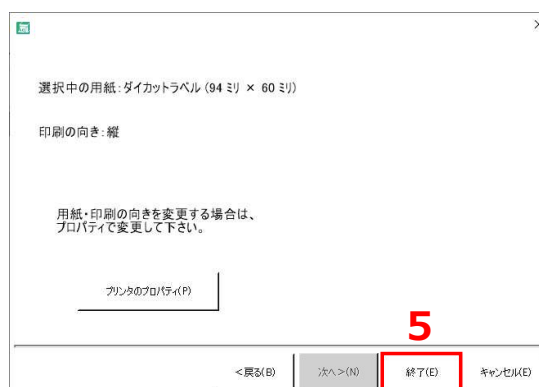
3. 用紙サイズ、印刷の向きを設定する場合は、「プリンターのプロパティ」を押し、設定を変更します。

※用紙サイズ、印刷の向きはプリンタプロパティの全般タブの「基本設定」にて行えます。

4. 「次へ」を押します。

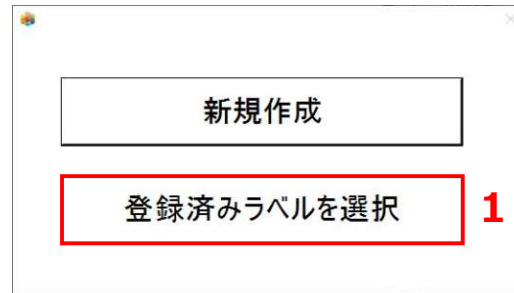
用紙サイズ⇒

印刷の向き⇒

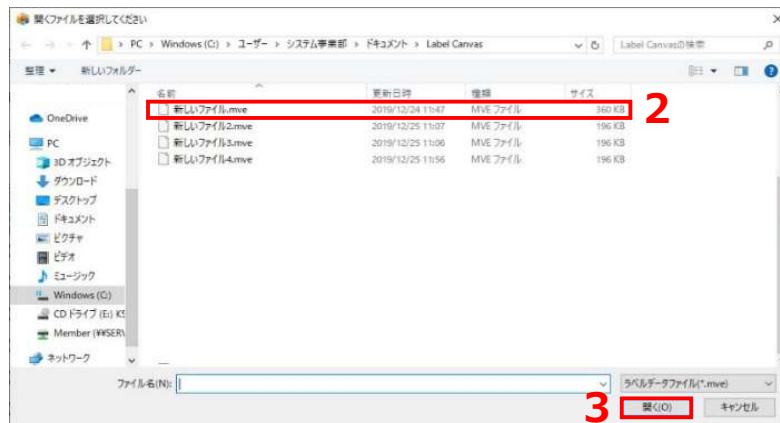


5. プリンターキュー選択中の用紙サイズと印刷の向きを表示します。確認後、「終了」を押してください。

②登録済ラベルを選択

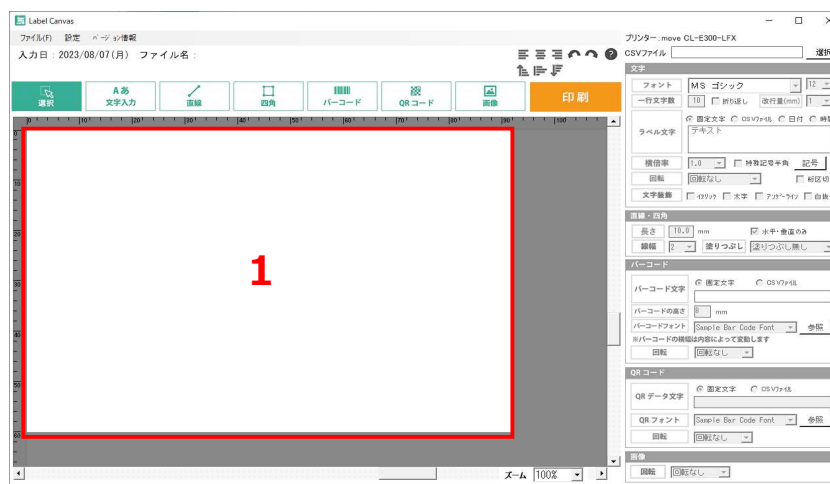


1. 「登録済ラベルを選択」を選びます。



2. 保存済みの一覧から対象ファイルを選択します。
ファイル参照先は「C:%MOVE¥Label Canvas¥MVE」です。ファイル名称は「ファイル名.mve」です。
3. 「開く」を押します。

③ラベルデザイン画面・印刷領域表示

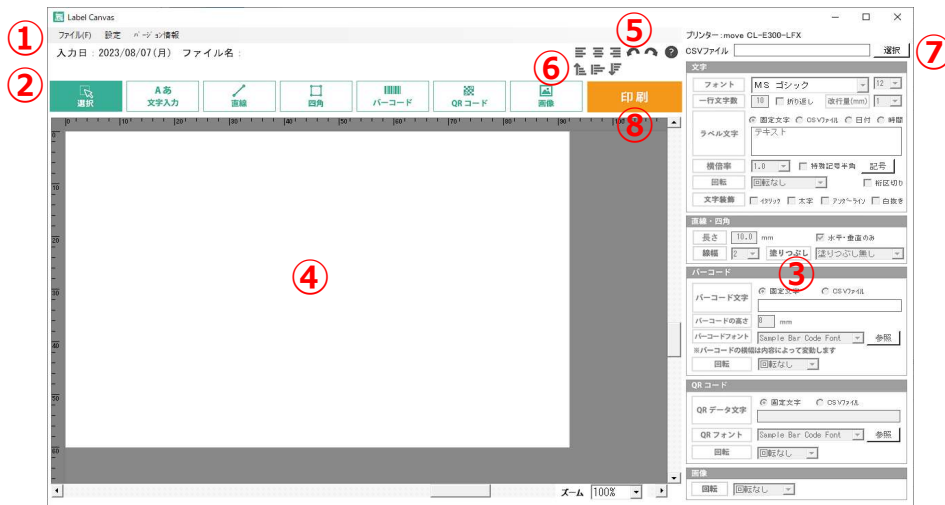


1. 指定したサイズのラベルデザイン画面を表示します。

- ・ グレーのエリアは非印刷領域になり、オブジェクトの配置はできますが印刷対象外です。
- ・ 右下のズームで表示の拡大縮小を行えます。
- ・ 上部、左部に表示されたメモリの単位はmm(ミリ)です。

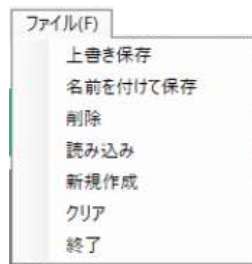
基本の操作

ラベルデザインの作成・印刷、ファイルの読み込み・保存までの基本操作を行うメイン画面です。各項目について説明します。



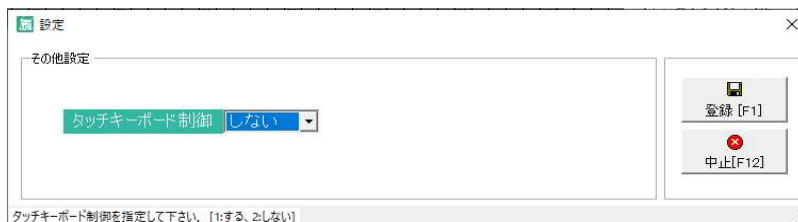
①メインメニュー

ファイル



上書き保存	読み込んだラベルデザインを上書き保存します。
名前を付けて保存	作成したラベルデザインを保存します。
削除	作成中のラベルデザインを削除します。
読み込み	保存されたラベルデザインを読み込みます。
新規作成	新たにラベルデザインを作成します。
クリア	現在作成中のラベルデザインのオブジェクトを全て削除します。
終了	アプリを終了します。右上の「×」を押して終了することも出来ます。

設定



Windows10 タブレット P Cでソフトキーボードを使用する場合に設定します。
Windows10 EnterPrise2016 LTSBの場合は、タッチキーボード制御を「する」に設定します。
Windows10 EnterPrise2019 LTSCの場合は、タッチキーボード制御を「しない」に設定します。

バージョン情報

バージョン情報やサポート連絡先を表示します。製品版への切り替えもこちらから行えます。

②オブジェクトボタン

ラベルデザイン画面に、テキストや直線などのオブジェクトを配置するときに選択します。



選択	配置済みのオブジェクトを選択します。 各オブジェクトをクリックすると選択状態になり、移動や内容の変更を行えます。 ※Shiftキーを押しながらオブジェクトをクリックすると複数選択を行えます。
文字入力	テキストを配置します。
直線	直線を配置します。
四角	四角（枠のみ、塗りつぶし、網掛け）を配置します。
バーコード	バーコードを配置します。
QRコード	QRコードを配置します。
画像	PC上の画像ファイルを選択して、画像を配置します。

③オブジェクト設定項目

オブジェクトボタンを押す、または、配置されたオブジェクトを選択すると、対応した設定項目が緑色に変わり、入力や変更を行えます。

④ラベルデザイン画面・印刷領域

ラベルデザイン画面・印字領域です。
このエリアにオブジェクトを配置し、
ラベルデザインを作成します。



- ・グレーのエリアは非印刷領域になり、オブジェクトの配置はできますが印刷対象外です。
- テキスト・バーコード・画像** 各オブジェクトの左上端が印刷範囲内であれば印刷を行います。
- 直線・四角** 各オブジェクトのいずれかの端が印刷範囲内であれば印刷を行います。
- QRコード** 最大文字数を確認し、適切な位置に配置してください。
- ・右下のズームで表示の拡大縮小を行えます。
- ・上部、左部に表示されたメモリの単位はmm(ミリ)です。

⑤戻る、繰り返し、ヘルプ

操作を戻す、戻した操作を取り消す、マニュアルを表示する場合に使用します。

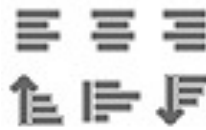


戻る	1つ前の操作に戻ります。「Ctrlキー+Z」で戻すこともできます。
繰り返し	戻した処理を取り消します。
ヘルプ	

⑥整列機能

複数のオブジェクトを選択して一括整列することが可能です。

整列は水平方向の左揃え・中央揃え・右揃え、垂直方向の上揃え・中央揃え・下揃えができます。



⑦外部データ（Excel、csvファイル）選択

外部データ（Excel、csvファイル）をラベルに埋め込んで印刷する場合に選択します。

初期の参照先は「C:¥MOVE¥Label Canvas¥CSV」です。

CSVファイル 選択

⑧印刷ボタン

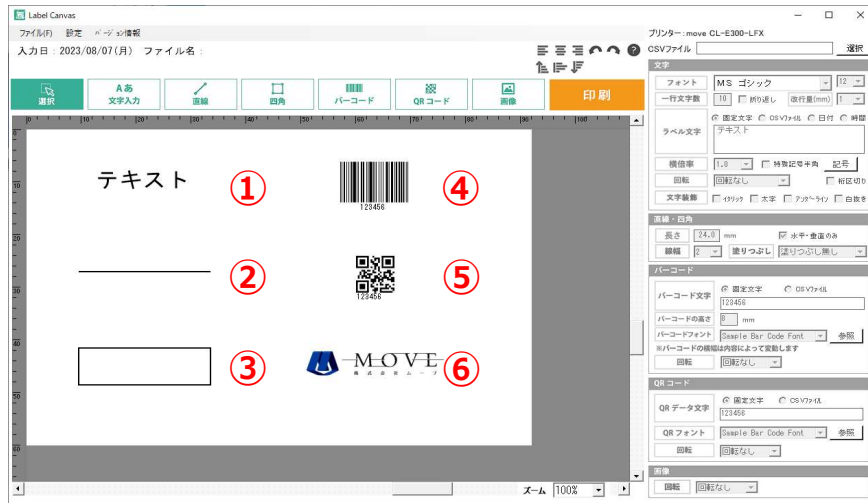
作成したラベルデザインを印刷する場合に使用します。



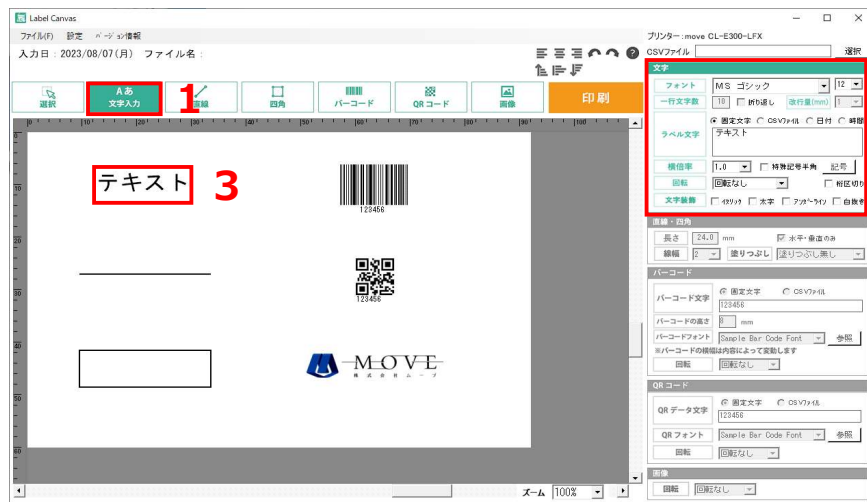
- ・印刷前に印刷プレビューを表示し、印刷内容の確認を行えます。
- ・外部データ挿入時は、代替文字と指定した項目列、及び外部データの内容を表示します。

オブジェクトの配置

テキストや直線などのオブジェクトをラベルデザイン画面・印字領域に配置する操作です。

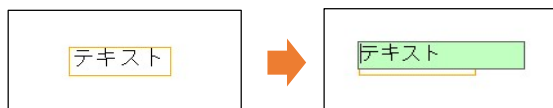


①文字入力



- 1.オブジェクトボタンの「文字入力」を押します。
- 2.右の「文字」項目からフォント種等を指定し、文字入力を行います。
- 3.左のラベルデザイン画面をクリックすると、文字を配置します。

ダブルクリック

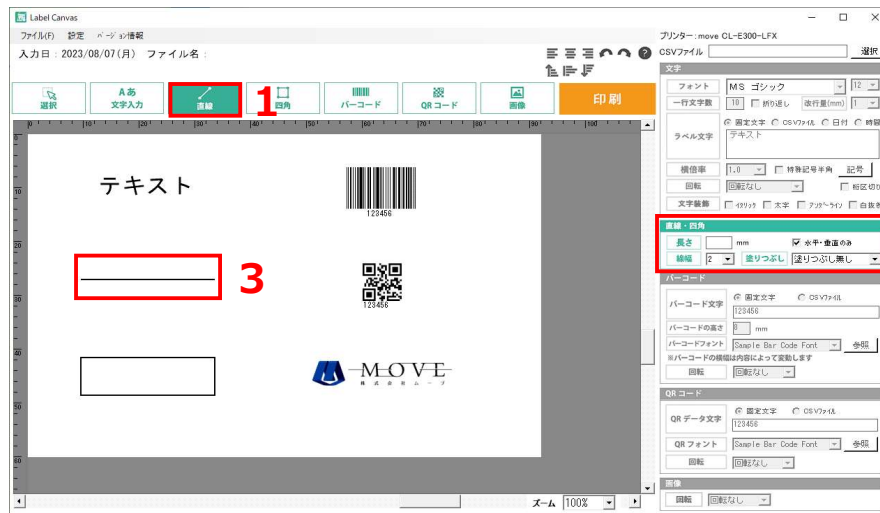


配置したテキストをダブルクリックすると、入力欄が現れテキストの変更を行えます。（複数行入力可能）



「日付」や「時間」を選択して、日時を配置することが出来ます。
日付は「YYYY/MM/DD」「YY年MM月DD日」、時刻は「HH:MM」「HH時MM分」より選べます。また、表示する日付（時間）を現在から前後何日（何時間）

②直線



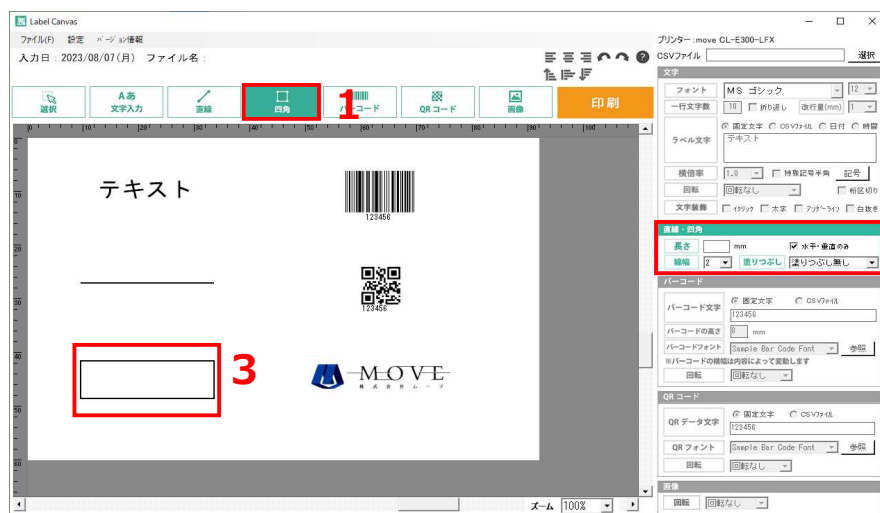
- 1.オブジェクトボタンの「直線」を押します。
- 2.右の「直線・四角」項目から線の幅を指定します。
- 3.左のラベルデザイン画面をマウスでドラッグすると、直線を配置します。



直線の両端にマウスカーソルを合わせると、テキストの変更を行います。マウスカーソルが斜めの矢印に変わり、マウスドラッグで直線の長さを変えることが出来ます。

「水平・垂直のみ」のチェックを外すと斜め線を描くことが出来ます。また、水平・垂直直線の場合は長さを手入力で変更することが出来ます。

③四角



- 1.オブジェクトボタンの「四角」を押します。
- 2.右の「直線・四角」項目から線の幅、塗り潰しの有無を指定します。
- 3.左のラベルデザイン画面をドラッグすると、四角を配置します。



四角の四つ角にマウスカーソルを合わせると、マウスカーソルが斜めの矢印に変わり、マウスドラッグで四角の大きさを変えることが出来ます。



四角の上部の直線にマウスカーソルを合わせるとマウスカーソルがプラスの矢印に変わり、四角を移動することが出来ます。

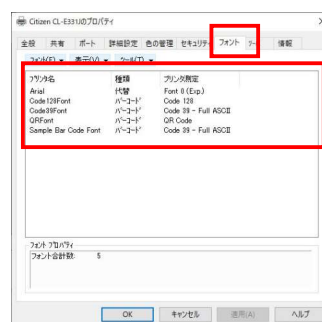
④バーコード



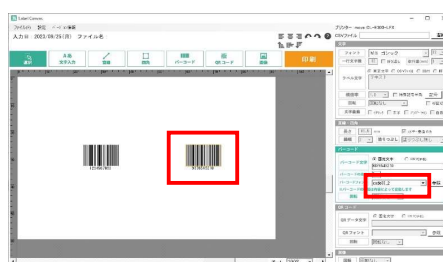
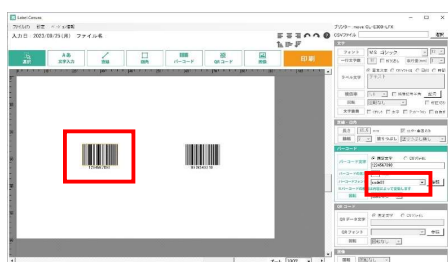
- 1.オブジェクトボタンの「バーコード」を押します。
- 2.右の「バーコード」項目からバーコードフォント等を指定します。
- 3.バーコードフォントを設定する場合は「参照」を押します。
ウィンドウイメージは下記のバーコードフォント設定画面を参照してください。
- 4.左のラベルデザイン画面をクリックすると、バーコードを配置します。
※バーコードの横幅は、データ文字数によって変動します。

バーコードフォントの設定画面

バーコードフォントの登録・設定は、参照ボタン押下後、プリンタプロパティのフォントから行えます。



同じ種類のバーコードを横に2つ以上並べて印刷する場合は、必ずバーコードフォント名を違うもの（「code39」と「code39_2」など）にしてください。
※そのためには事前にプリンタプロパティのフォントから、同じ設定のバーコードフォントを異なる名前で作成してください。
もし同じ名前前のバーコードフォント名で横に並べて印刷した場合、正しく印刷されません。



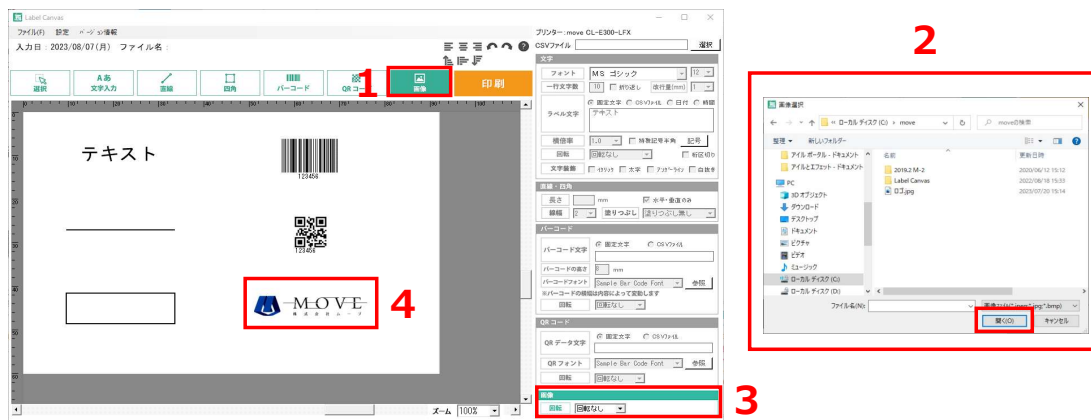
⑤QRコード



- 1.オブジェクトボタンの「QRコード」を押します。
- 2.右の「QRコード」項目からQRコードフォント等を指定します。
- 3.左のラベルデザイン画面をクリックすると、QRコードを配置します。

- ・QRコードの大きさは、データ文字数によって変動します。
- ・QRコードフォントの登録はバーコードフォント設定画面と同じです。

⑥画像



- 1.オブジェクトボタンの「画像」を押します。
- 2.画像選択画面を表示します。配置する画像ファイルを選択し、開くを押します。
ファイル参照先は「C:\MOVE」です。登録可能なファイル形式は「*.jpeg」「*.jpg」「*.bmp」です。
- 3.右の「画像」項目から回転角度を指定します。
- 4.左のラベルデザイン画面をクリックすると、画像を配置します。



四角の四つ角にマウスカーソルを合わせると、マウスカーソルが斜めの矢印に変わり、ドラッグで画像の大きさを変えることができます。



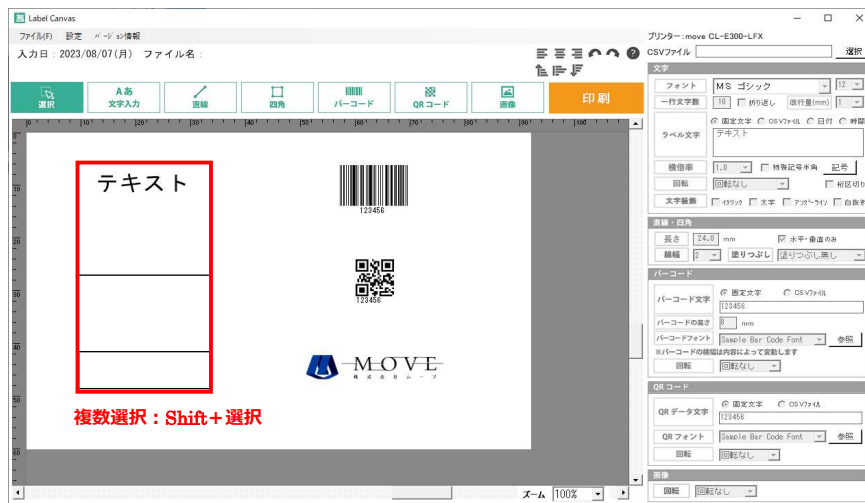
画像の内部にマウスカーソルを合わせると、マウスカーソルがプラスの矢印に変わり、画像を移動することが出

オブジェクトの操作

配置したオブジェクトの移動、コピー・ペースト、削除に関する操作です。

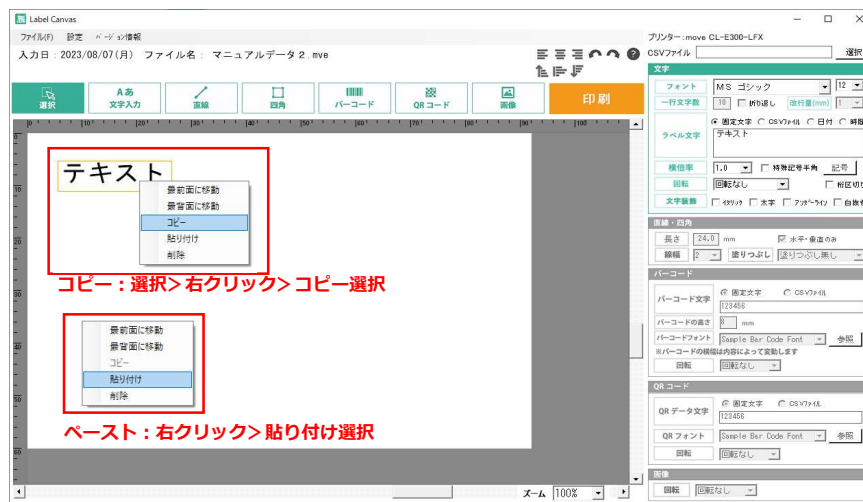
① オブジェクトの一括移動

「Shift」を押しながらオブジェクトをクリックすることで、複数選択・一括移動・整列を行えます。
また、テキストは複数選択してフォントの種類、フォントサイズの一括変更を行えます。



② オブジェクトのコピー・ペースト

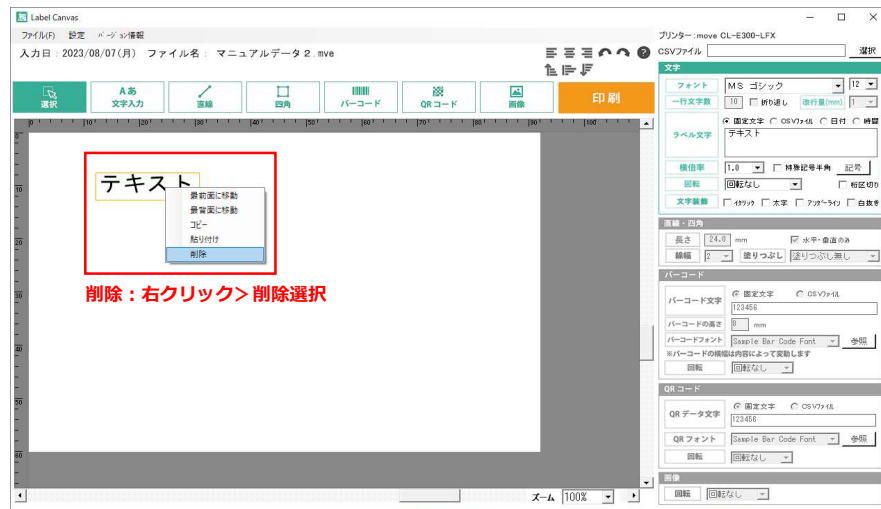
オブジェクトを右クリックしてコピー・ペーストを行えます。



・オブジェクトを選択して「Ctrlキー+C」でコピー、「Ctrlキー+V」でペーストも出来ます。

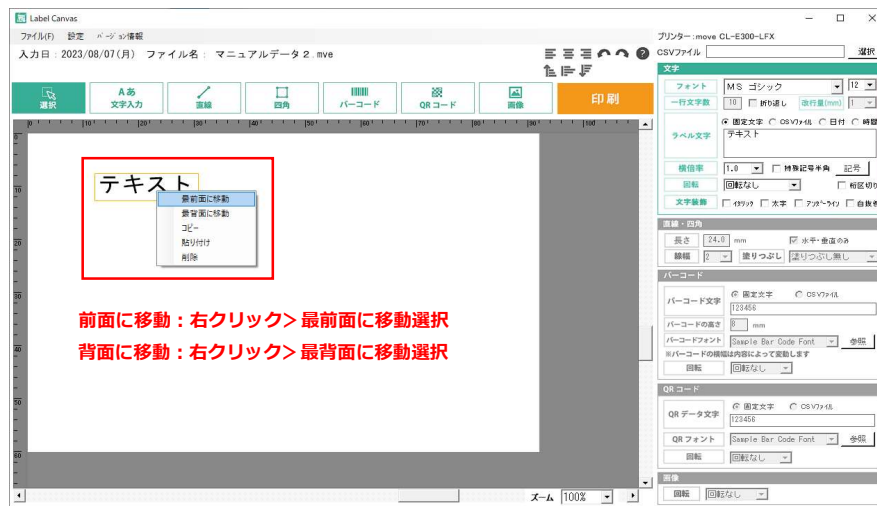
③オブジェクトの削除

オブジェクトを右クリックして削除を行います。



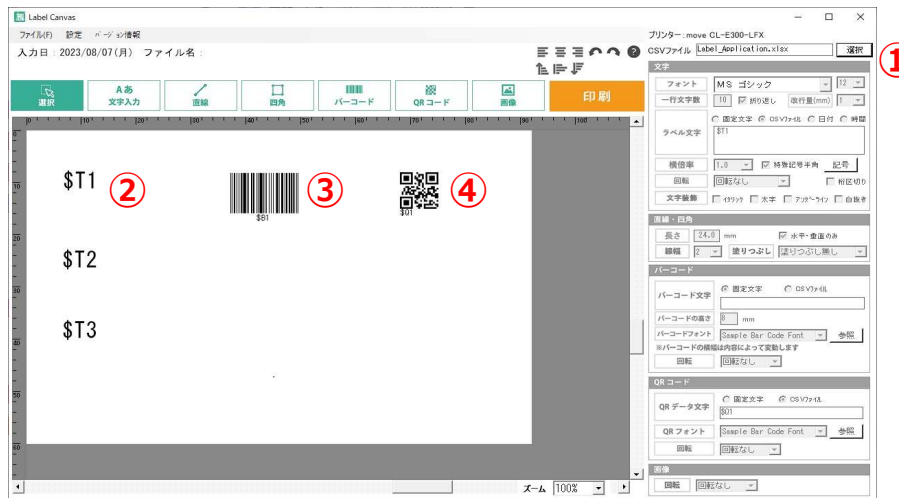
④オブジェクトの前後移動

オブジェクトを重ねる場合に、オブジェクトを右クリックして前面(背面)へ順番を入れ変えることが出来ます。

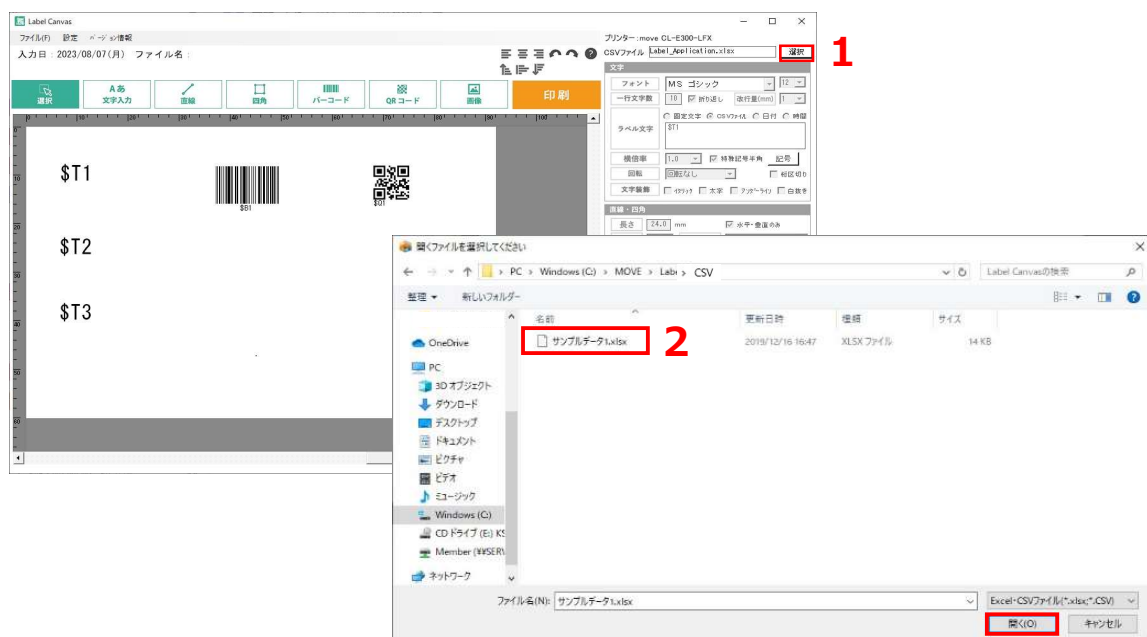


外部データの配置（CSV,Excel）

CSVやExcel形式のファイルを読み込み、テキストやバーコードなどの外部データをラベルデザイン画面・印字領域に配置する操作です。



①外部データの選択



- 1.メイン画面右上の、選択ボタンを押します。
- 2.ファイル選択画面を表示します。選択するファイルを指定して「開く」を押します。
ファイル参照先は「C:¥MOVE¥Label Canvas¥CSV」です。登録可能なファイル形式は「*.xlsx」「*.csv」です。

文字

フォント MS ゴシック 12

一行文字数 10 ☒ 折り返し 改行量(mm) 1

ラベル文字 \$T1

横倍率 1.0 ☒ 特殊記号半角 記号

回転 回転なし ☐ 桁区切り

文字装飾 ☐ イタリック ☐ 太字 ☐ アンダーライン ☐ 白抜き

配置した外部データ（テキスト）は、一行あたりの文字数を設定することが出来ます。文字数がオーバーした際は、「折り返し」にチェックを入れ、折り返し印字を行うことができます。折り返し印字の改行（行間）は1～10mmの間で設定できます。文字数の初期値は10文字（半角）、改行量の初期値は1mmです。

\$T1

\$T2

\$T3

一行あたりの文字数を設定すると、ラベルデザイン画面には、指定したフォントサイズと文字数にあった印字範囲を表示します。

文字

フォント MS ゴシック 12

一行文字数 10 ☒ 折り返し 改行量(mm) 1

ラベル文字 \$T1

横倍率 1.0 ☒ 特殊記号半角 記号

回転 回転なし ☐ 桁区切り

文字装飾 ☐ イタリック ☐ 太字 ☐ アンダーライン ☐ 白抜き

特殊記号半角

10 0 . , . . .

登録 [F1]

中止 [F12]

一行あたりの文字数、及び「折り返し」設定により、MSゴシック等の等幅フォントは右端を揃えることができます。MS Pゴシック等の等幅でないフォントは、「・」や「、」などの記号を「特殊記号半角」として登録し、半角文字としてカウントすることで、右端を揃い易くすることができます。

※本機能は全角文字を半角文字としてカウントする機能です。元の文章に半角英数字が多く含まれる場合には対応できません。

特殊記号半角のチェックがない場合

倍率 [100%] ページ 1 / 1

ラベルプリンター (CL-E300)、レシートプリンター、ライトカードリーダーライター、キャッシュドロー、バーコードスキャナー、タッチパネルディスプレイ等業務用デバイス

特殊記号半角のチェックがある場合

倍率 [100%] ページ 1 / 1

ラベルプリンター (CL-E300)、レシートプリンター、ライトカードリーダーライター、キャッシュドロー、バーコードスキャナー、タッチパネルディスプレイ等業務用デバイス

文字

フォント MS ゴシック 12

一行文字数 10 ☒ 折り返し 改行量(mm) 1

ラベル文字 \$T1

横倍率 1.0 ☒ 特殊記号半角 記号

回転 回転なし ☒ 桁区切り

文字装飾 ☐ イタリック ☐ 太字 ☐ アンダーライン ☐ 白抜き

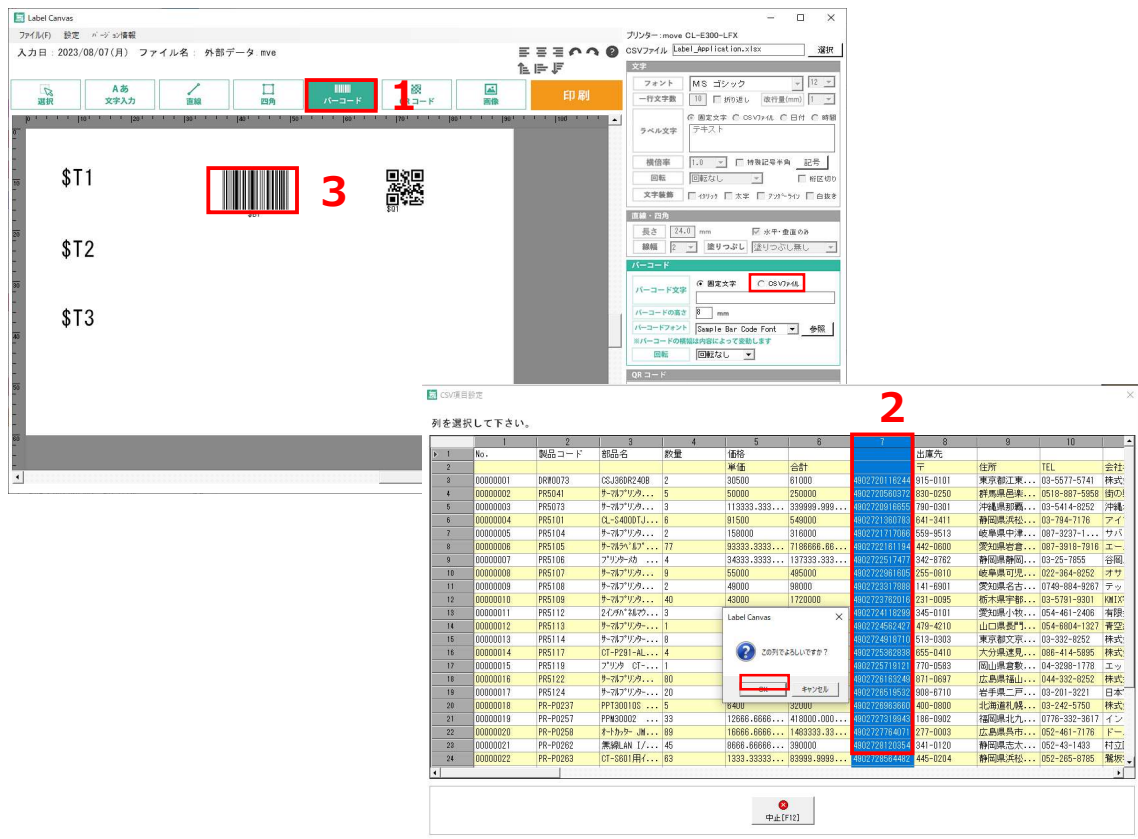
1	1000000
2	2000000
3	3000000
4	4000000
5	5000000

倍率 [100%] ページ 1 / 1

1,000,000

「桁区切り」にチェックを入れると、3桁ずつカンマ区切りで印字されます。

③外部データ（バーコード）の挿入



1. オブジェクトボタンの「バーコード」を押し、右の「バーコード」項目のCSVファイルにチェックを入れます。

2. 読み込んだ外部ファイルの内容を表示します。挿入する項目列をクリックして「OK」を選択します。

3. 左のラベルデザイン画面をクリックすると、代替文字を配置します。
バーコードの代替文字は\$Bn(n は数字)です。

- オブジェクトボタンの「バーコード」を押し、右の「バーコード」項目のCSVファイルにチェックを入れます。
- 読み込んだ外部ファイルの内容を表示します。挿入する項目列をクリックして「OK」を選択します。
- 左のラベルデザイン画面をクリックすると、代替文字を配置します。
バーコードの代替文字は\$Bn(n は数字)です。

④外部データ（QRコード）の挿入

The screenshot shows the Label Canvas software interface. The main window displays a label design with three text labels: \$T1, \$T2, and \$T3. A QR code is visible on the right side of the label. The interface includes a top menu bar with options like 'ファイル', '設定', 'ヘルプ', and '印刷'. A toolbar below the menu contains icons for '選択', 'A 文字入力', '図形', '四角', 'バーコード', 'QRコード', and '印刷'. The 'QRコード' button is highlighted with a red box and the number 1. The '印刷' button is highlighted with a red box and the number 2. The 'QRコード' button is also highlighted with a red box and the number 3. The right side of the interface shows the 'QRコード' settings panel, which includes options for 'QRデータ文字', 'QRフォント', and 'QRコードの幅'. The 'QRデータ文字' field is set to '\$Qn'.

Below the main window, a CSV file selection dialog is shown. The dialog has a table with columns for '列' (Column) and '行' (Row). The table contains the following data:

列	行	内容
1	16	品名
2	17	品名
3	18	品名
4	19	品名
5	20	品名
6	21	品名
7	22	品名
8	23	品名
9	24	品名
10	25	品名
11	26	品名
12	27	品名
13	28	品名
14	29	品名
15	30	品名
16	31	品名
17	32	品名
18	33	品名
19	34	品名
20	35	品名
21	36	品名
22	37	品名
23	38	品名
24	39	品名

The '品名' column is highlighted in blue. A red box and the number 2 are placed over the '品名' column header. A red box and the number 3 are placed over the '品名' cell in row 16, column 1. A dialog box titled 'Label Canvas' is shown in the center of the CSV selection dialog, asking 'この列でよいですか?' (Is this column okay?). The 'OK' button is highlighted with a red box.

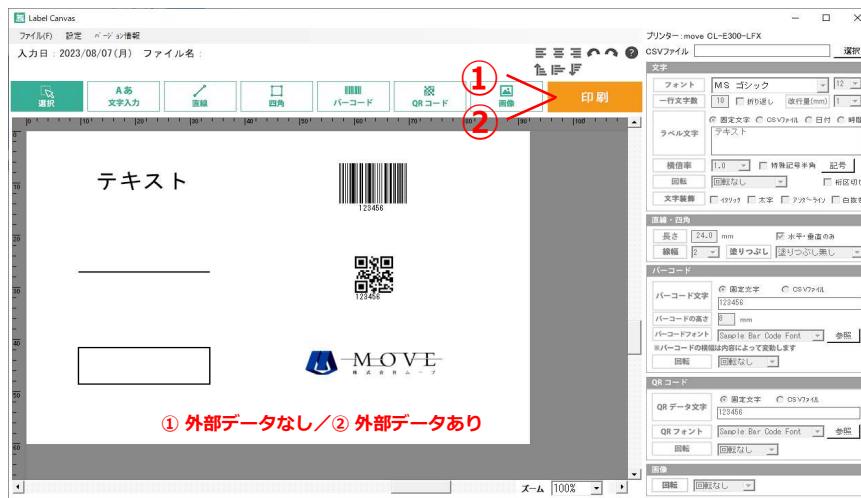
1.オブジェクトボタンの「QRコード」を押し、右の「QRコード」項目のCSVファイルにチェックを入れます。

2.読み込んだ外部ファイルの内容を表示します。挿入する項目列をクリックして「OK」を選択します。

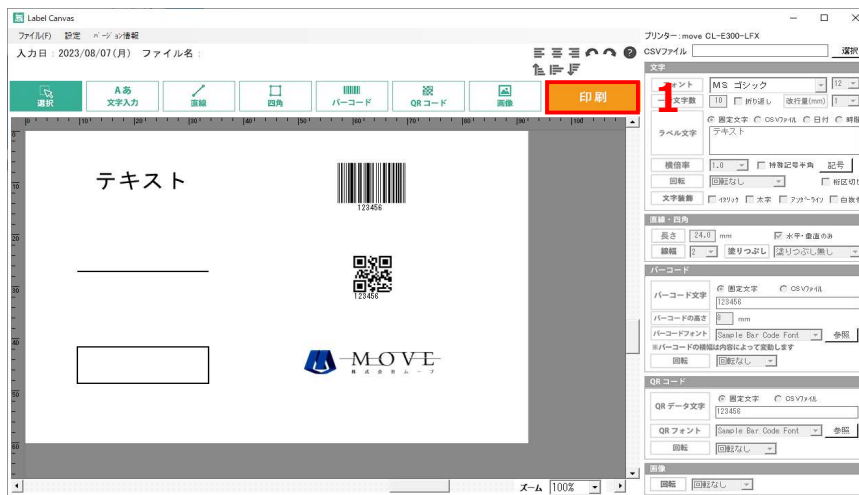
3.左のラベルデザイン画面をクリックすると、代替文字を配置します。
QRコードの代替文字は\$Qn(n は数字)です。

印刷

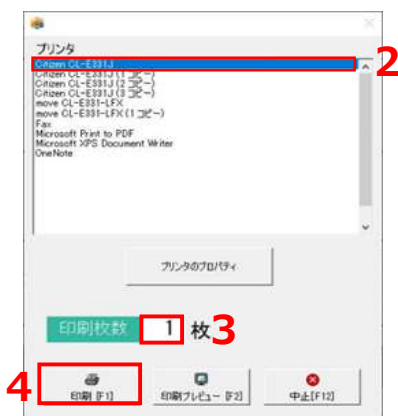
作成したラベルデザインをプリンタから出力する操作です。



① 印刷（印字項目に外部データを含めないケース）



1.印刷ボタンを押します。



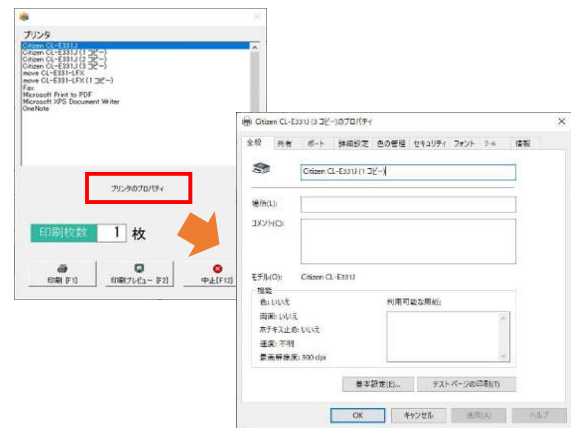
2.印刷するプリンターを選択します。

3.印刷枚数を指定します。

4.印刷ボタンを押します。



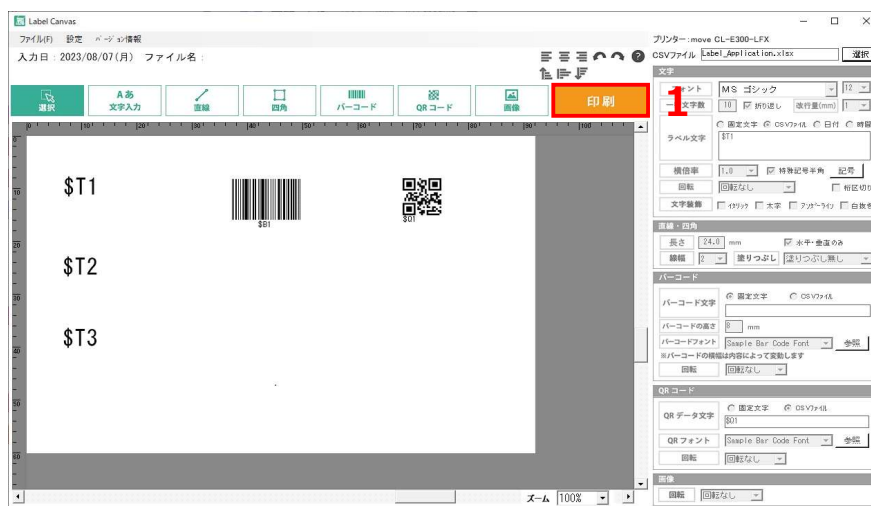
プリンタが未接続の場合、または電源が入っていない場合は「プリンタが未接続または電源が入っていません。」と表示されます。また、指定外のプリンタを選択した場合は「選択したプリンタは動作対象外です。」と表示されます。



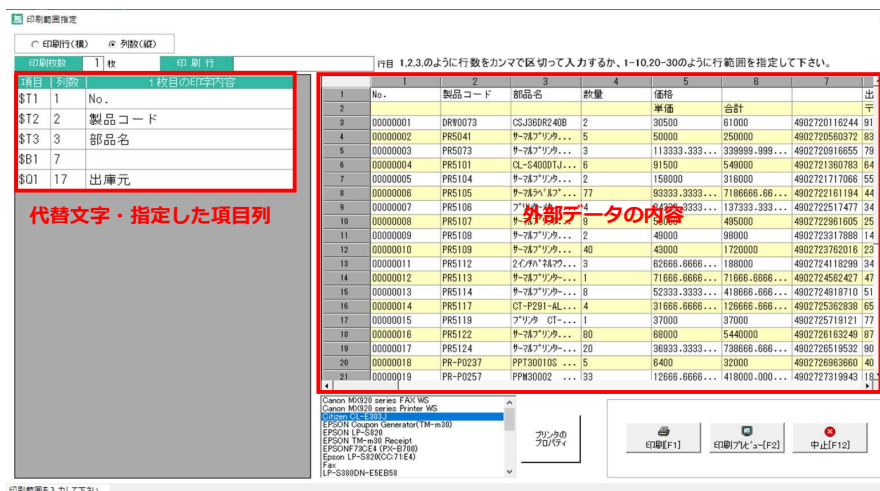
印刷プレビューから、印刷内容を確認することが出来ます。バーコード、ORコードはデータ文字数や設定により大きさが変動するため、実際の印刷サイズではありません。プレビュー画面では、拡大・縮小表示と、ページ単位での確認を行えます。

プリンタプロパティから、プリンタの設定を確認することが出来ます。

②印刷（印字項目に外部データを含むケース）

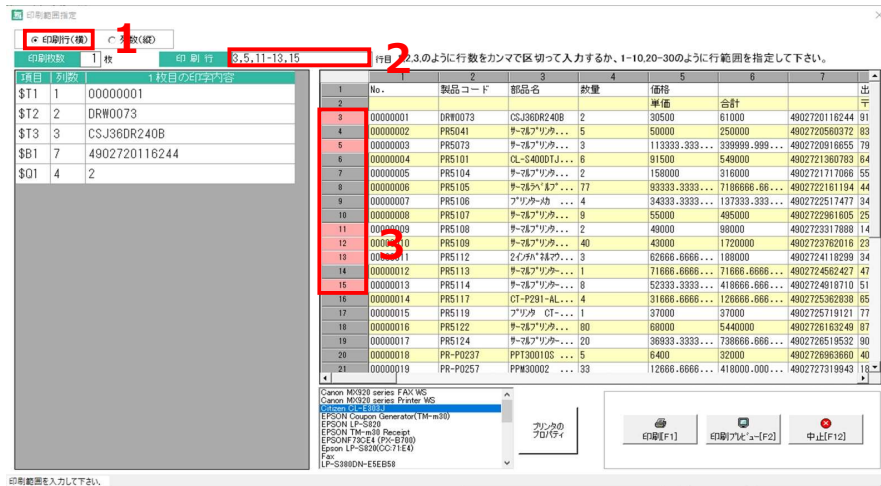


1.印刷ボタンを押します。

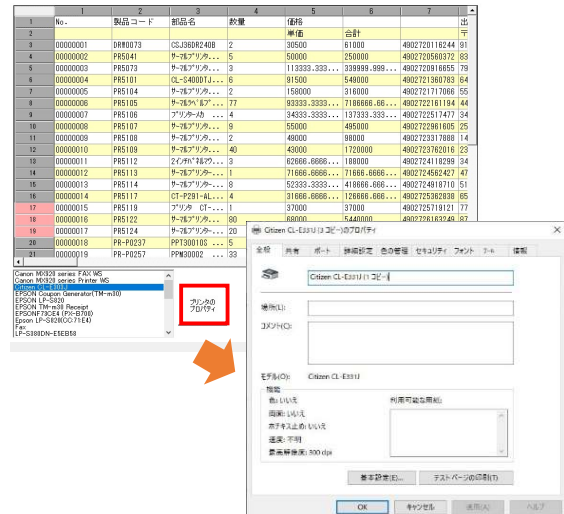
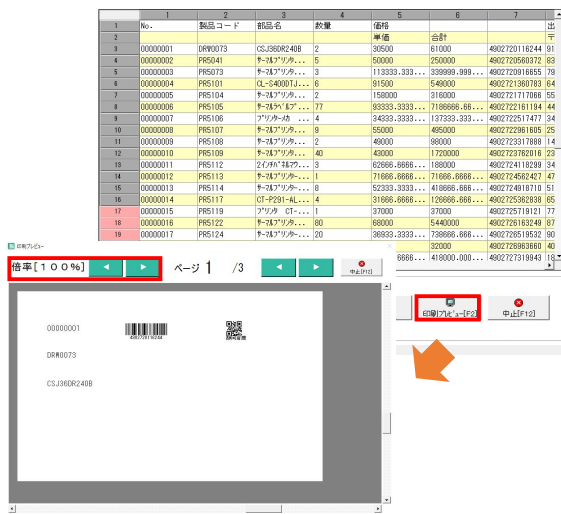


左リストに選択した代替文字と指定した項目列を表示し、右リストに読み込んだ外部データの内容を表示します。

印刷行を指定する場合



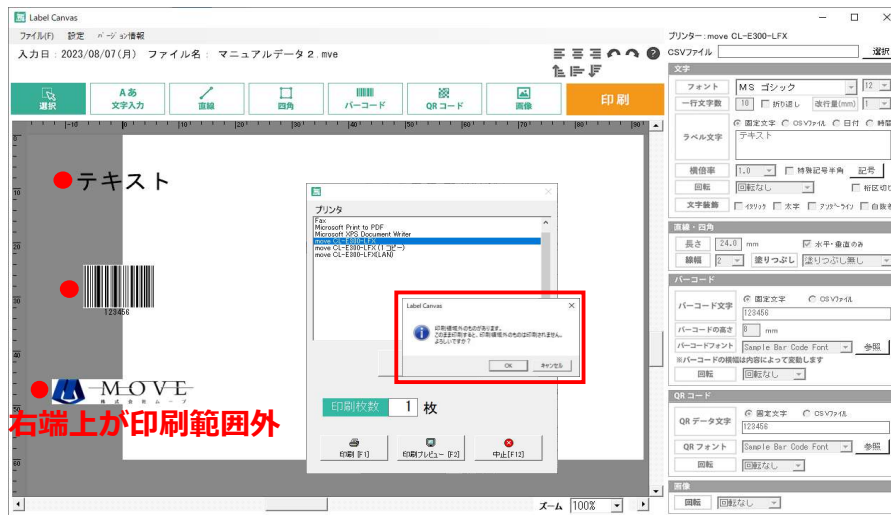
1. 左上の「印刷行(横)」にチェックを入れます。
2. 左上の印刷行に、「1, 2, 3」のように行数をカンマで区切って入力するか、「1-10, 20-30」のように行範囲を指定します。または、右のリストから印刷する行を選択することも可能です。
右のリストから複数選択する場合は、「Ctrl」を押しながら選択します。
マウスドラッグ、「Shift」を押しながら複数選択することも可能です。
3. 選択した印刷行を赤で表示します。



印刷プレビューから、印刷内容を確認することが出来ます。バーコード、ORコードはデータ文字数や設定により大きさが変動するため、実際の印刷サイズではありません。プレビュー画面では、拡大・縮小表示と、ページ単位での確認を行えます。

プリンタプロパティから、プリンタの設定を確認することが出来ます。

③印刷（印刷領域外にオブジェクトがあるケース）



テキスト・バーコード・画像は、各オブジェクトの左端上が印刷範囲外の場合は印刷を行いません。この場合、プレビュー時に「印刷領域外のものがあります」と表示します。また、印刷時は「印刷領域外のものがあります。このまま印刷すると、印刷領域外の内容は印刷されません。よろしいですか?」と表示します。「OK」で印刷、「キャンセル」で中止します。